

## 地域密着型サービス評価の自己評価票(西棟)

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	今までに掲げ実践していた理念に、地域とのかかわりを盛り込み、新しい理念として意識し、仕事を行っている	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝礼を行う事務所に理念を明示し、カンファレンス等にて、理念に基づくケアを話し合い、実践している	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議や家族会にて説明している	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	時々、近所の方々が野菜を持ってきてくれたりしているが、日常的に行き来あるまでには至っていない	○ 散歩などで挨拶や言葉を交わし、気軽に来て頂けるような関係を作っていきたい
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会などの参加は行っていない	○ 町内会への加入を検討中である

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	家族・ボランティアなどの見学や研修の受け入れをしている。希望に応じて相談を受け付けたい		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の内容は全員で見直し、話し合いを行い、業務に取り入れるなどして改善を行っている		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	まだ一度しか運営推進会議は開催していないため、取り組んではない	○	八月の運営推進会議にて評価の説明を行い、結果が来たら、次回の運営推進会議にて内容を公表し、モニターしてもらいたいと考えている
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	グループホーム連絡会(地域密着型サービス連絡会)に参加し、話を伺ったり、不明な点などは指示を仰いでいる		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修等で話を伺ってはいるが、利用には至っていない	○	生活保護利用者がいるので、相談し、利用を考えていきたい
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修で話を伺い、職員にも伝えている。カンファレンスで話し合い、ケアについては常に見直しを行い発生の防止に努めている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所前に一度見学をしていただき、契約について説明をし、契約時にも再度確認していただいている。変更時には家族会や文書にて説明している		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情については管理者が窓口となり、常時受け付けている。また、意見箱や運営推進会議を通して受付、対応している		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時や家族会等にて話している。また”長寿館だより”を発行して日々の暮らしの報告を行っている		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情については管理者が窓口となり、常時受け付けている。また、意見箱や運営推進会議を通して受付、対応している		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	話し合う機会を設け、場合によっては全員で話し合いを行い、反映させている		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	場合によっては職員の勤務変更を行い、十分な対応ができるよう心がけている		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者等が異動時には引継ぎを行い、新しい職員や利用者に対して負担の少ないよう努力しているが、どうしても情報の抜けが生じてしまっている	○	情報は常にカルテ等に記録し、申し送りを徹底していきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修に行ったものが、内容を職員に伝える等して勉強している。希望があれば研修にいけるように勤務にも配慮を行っている。また事業所内でも勉強会があれば参加できるようにしている	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会に参加し、交流を図りながら相互に協力し、勉強会など行っている	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	互助会があり、納涼祭やボーリング大会、バス旅行があり、皆、楽しんで参加している	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個人の努力を把握し、本人の資格取得の希望など、できる限り配慮し、支援している	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所時は特に注意し、コミュニケーションを行っており、その後も日々の声かけや表情観察は常に実施している	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所前や面会時に利用者が利用者の状態を伝える際など、家族や家のことを聞き、相談や支援できる場所は行っている	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	センター方式を利用し、家族にも協力してもらいながら、アセスメントを行い、サービスの提供につなげている	○	センター方式の活用が十分にできていないところがある。場合によっては中々聞き取れていない点もあり、今後はできるかぎり活用し、ニーズの把握を行っていききたい
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族には一度見学に来てもらっているが、本人はまちまちである。隣接のデイを利用していても多く入所しており、時々散歩に行き、知り合いに会うなどし、その後のフォローは行っている	○	家族と十分話し、利用者が不安に感じたり、混乱しないよう配慮していききたい
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食事やお茶を一緒にとり、昔のことを教えていただいたり、ともに過ごす時間を大切にし、一緒に活動を行っている		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	病院受診などできる限りの協力をいただいている。面会の少ない家族には連絡し、面会に来ていただくようお願いしている	○	家族によって差があり、利用者もつらく感じている場面がある。職員で気をつけフォローしていききたい
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族の負担や本人の負担に気を配り、場合によっては間に入ったり、相談に応じるなどして支援を行っている		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	元隣接のデイサービスを利用していた方は、デイに散歩に行き友人に会えるようにしたり、家の近くにドライブに行くなどしている	○	地域の催しに出かけるなどしたいが不十分のため、できる限り実行していききたい
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	食事の席など配慮したり、職員が間に入って交流を持つなど、関係には十分気を配り対応している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている			
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
<b>1. 一人ひとりの把握</b>				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を利用しての情報収集やアセスメントを行い、本人の希望に添ったケアを行っている。また、意思確認が出来ない場合は、本人により良い支援をカンファレンスにて話し合い、実施している	○	センター方式がもっと活用できるようにしたい。また、随時、希望は聞いているが、もっとケアプランに反映できるようにしていきたい
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に家族の方にセンター方式の用紙を渡し、記入をお願いしたり、難しい場合には面会時などに聞きながら、情報収集している。また、本人にも色々聞いたりして、全員が周知するよう話をしたりしている	○	家族がいない方はわからない点も多い。これまでのサービス利用の経過については、担当のケアマネに聞くなどしてより多くの情報を集めるようにしたい
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	介護や処遇はチームで行うが、居室担当者を決めており、その人が中心となって日々の生活の把握に努めている。また、カンファレンスを通して全員が周知するようにしている		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアプランはサービス担当者会議を開いて作成している。居室担当者と話をしたり、家族に相談するなどして、よりよいプラン作成を心がけている	○	家族によっては、中々協力が難しいところもある。医師とは往診時などで状況を聞いたりしているが、もっと連絡を取ってほしい
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	心身状況などに大きな変化があった場合は、プランの見直しを行っている。またプランは3ヶ月に1度見直しを行い、プランの達成状況は毎月のモニタリングにて確認している。家族からの希望や要望があれば、その都度対応している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護日誌や個人記録にて、日々の様子や変わったことを記録している。また、チームのノートがあり、特に注意する点はそこで申し送りしている。	○	夜間帯の記録がパターン化しているため、もっと詳しく具体的な内容を残すようにしたい
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	隣接のデイサービスでの行事には本人の希望があれば、見に行ったりしている。家族の希望があれば随時対応している		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	必要時には協力をお願いすることもあるが、日常では行っていない	○	
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	希望がないため、実施していない	○	他のサービス利用については、利用者が知らないことも多いので情報提供をしたりし、希望があれば随時対応できるようにしたい
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	希望がないため、実施していない	○	
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携病院があり、週に一度は往診していただいたり、かかりつけ医からの情報提供を行ってもらったりして、支援している。また、必要時には提携病院以外の病院にも受診し、本人や家族が安心して生活できるように支援している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>			
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	人格を尊重し、一人ひとりに合った言葉使い、声かけに気をつけるようにしている	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の希望を尊重しながら話し合い、できる限りの支援をしている	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事、給茶後はそれぞれのペース希望に添って、好きなように過ごしていただいている。テレビを見たり、居室にて休憩したり、居室にテレビを置いて、好きな時に好きな番組を観ていただいている	
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	個性を大切に、好みの服装をして頂いている。希望にそって本人の望むよう支援し、定期的に近くの理美容院に来ていただいている。	○ 希望があれば、外出への対応もしたい
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	好みの物、食べたいものを聞きながら、栄養バランスの取れた献立作りをしている。料理の下準備(皮むき、洗い)やテーブル拭き、食器拭きをなどを手伝っていただいている	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	希望に添えるよう出来る限りの支援をしている。好みの飲み物おやつ提供をしている。本人の希望に合わせ(医師の指導あり)、食後にタバコを吸っている(火災防止のため、職員が管理をしている)職員と一緒に買い物に行き、好きなものを購入している	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個々の排泄パターンを把握し、自尊心を傷つけないよう言葉使いに気をつけて支援している。排泄チェック表を作成して記録している。なるべく自分ひとりの力でできるようサポートする介助をするよう心がけている		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人一人の希望を聞きながら、入浴を楽しめるよう声かけ誘導している。入浴前のバイタルチェックを行い、入浴内容については入浴記録表をつけている		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	希望を伺い、不安のないよう安心して良眠して頂ける様支援している。夜間の排泄に不安な利用者にはポータブルトイレを居室に置き、利用して頂いている		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	1人1人の趣味、要望を聞き、穏やかに楽しんで生活できるよう支援している。公園に行き、散策したり季節の花々を見に言っている。スーパーでの買い物に同行する		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望を聞き、必要な物は預かり金の中から購入して頂いている。職員と共に買い物に行き、本人に選んで頂き支払いもして頂いている		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員と共に近所を散歩したり、天気の良い日はなるべく戸外で楽しめるように支援している。スーパーへ買い物に行ったり、ドライブを楽しんでいる。日光浴をしたり、歌を歌ったりして楽しんでいる。	○	状況によっては希望に添えない場合もある。できる限りは体制を作り、外出できるようにしたい
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	利用者の希望を聞きながら、毎月一度のレクリエーションにて行っている。レクリエーションについては職員全員で相談し、計画を立てている。食事会、ドライブ、季節の花見、ピクニックなど		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に応じて行っている		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	職員も家族とのコミュニケーションを取っており、団欒の場を設けている		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束はしていない。	○	やむをえない場合などの対応を全員で周知しておきたい
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間以外は施錠していない		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	声かけ、見守りをして安全面を考慮している		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	管理方法、保管場所など、取り決めて実行している		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	マニュアルも用意しており、勉強会も行っている。ヒヤリハットを活用し、再発防止に努めている	○	ヒヤリハットの記録が少ないため、細かなことでも記録を残していきたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルをや連絡網を用意しており、職員同士連絡を取り合い、対応している		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災の意識を高めるため、避難訓練や消火器の取り扱いなど、定期的に取り組んでいる。地域の人々との協力体制はまだ十分とはいえない	○	グループホームを地域の人々によく知ってもらい災害時に協力を得られるように努めたい。職員一人ひとりが災害時の役割をしっかりと把握する
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	体調の変化を見ながら、家族と連絡を取り、今後の対応を話し合っている		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝、バイタルチェックを行い、顔色や言動、状態の変化に注意している。利用者の毎日の習慣など行動の変化に気をつけている		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師、薬剤師から服薬指導を受け、職員皆で確認している。薬の説明書にも目を通して利用者の状態をよく把握するよ努めている		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	繊維質の多い食事内容を考慮したり、水分摂取に注意している。体操も行い、体を動かすように努めている。排便回数、状態も記録している		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後に歯磨き、うがいを行い、口腔内の清潔を保つようにしている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分量を記入し、把握できるようにし、一人の状態に合わせ摂取するよう努めている		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	資料はファイルに保管されており、職員がいつでも見られるようになっている。職員の勉強会も実施している	○	勉強会をもっとまめに行うようにしたい
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	定期的または毎食後ごとに消毒、清掃している。冷蔵庫内も整理し、新鮮な食材を調理するよう心がけている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	ユニット毎に玄関があり、玄関付近に花やベンチなどが置かれ、開放的で自由に出入りできるようになっている		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間では、利用者が過ごしやすいよう配慮し、TV前にはソファ、畳などがあり、ゆったりと生活されている		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間ではテーブル、椅子の生活のスペースとTV、ソファのスペースを畳によって分けており、自由に過ごされている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを 活かして、本人が居心地よく過ごせるような工 夫をしている	使い慣れた馴染みのものや家電製品を持ち込むことが可能 であり、居心地よく過ごせるよう配慮している		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換 気に努め、温度調節は、外気温と大きな差が ないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめ に行っている	換気に努め、消毒剤使用にて臭いに注意している。温度調 節は利用者の体調に考慮している		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かし て、安全かつできるだけ自立した生活が送れ るように工夫している	共同スペースでは、手すりの取り付けがされており、一人一 人に合わせて自立した生活が送れるよう支援している		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失 敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫してい る	一人一人のできることを活かして、自立して暮らせるよう支援 している		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだ り、活動できるように活かしている	外回りには畑や花壇があり、利用者と一緒に野菜作り、花の 水揚げなど活動している		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ISOを取得し、良品質のサービスを提供する”長寿館ブランド”の構築を目指し、職員一同力を入れて取り組んでいます